

緑地新聞 ①

2018年10月

松木日向緑地プログラムとは

首都大学東京の奥地に存在する松木日向緑地で毎年、九月から、月に一度程度、学生主体で竹林整備の活動を行っています。また、伐採した竹は活用して、地域の交流等へと役立てています。プログラムの中には、ボランティアの意義・社会の課題や背景を学ぶ事前学習・活動を多角的に振り返る事後学習があり、通常活動である、竹林整備と連動した内容・構成になっています。

←緑地・ボランティアとは？

←通常活動 く緑から緑をく

←活動の学びを共有



2つの新企画、サマボラにて

「ボランティア団体フェア『サマボラ2018!』」が七月一・二日、南大沢キャンパスのインフォメーションギャラリーにて行われました。スポーツボランティアプログラムメンバーによる「ボッチャ体験会」・「ゆるスポーツ」や学生コーディネーターによる「オリンピッククイズ・パラリンピッククイズ」等の多様な学生企画の一つとして、松木日向緑地プログラムのリーダー・サポーターらは、緑地で伐採した竹を使い、「学生に願い事を書いてもらう」という特別企画「七夕、君の願いは。」

を実施。多くの学生がそれぞれの願い事を竹へ括り付けていました。

←緑地の竹に願いを括り付ける参加者



←準備に余念がない企画者



同日昼休みに、七号館入り口付近で、竹水鉄砲を用いた的当てゲーム「竹スポ!

2018」を行いました。初めて竹水鉄砲に触れる人が多かった一方、地元で昔、遊んだことのある人もいて、「懐かしい気持ちになれた」という声がありました。

願い事を括り付けてもらうことで、また、竹水鉄砲遊びを通じて、少しでも多くの方々に緑地のことを伝えられたのではないかと思います。なお、二日間で、両特別企画合わせて七〇名ほどの学生が参加をしました。

←ゲームのルールや緑地の説明



←満点を出せたのは二人だけでした…



編集後記 (リーダー・法学系・三年)

緑地の写真を載せるようになってから、いいね!の数が二割増しになりました。大学の緑地で「あなただけのSNS映えポイント」を是非見つけてみてください!



編集・発行 首都大学東京ボランティアセンター (南大沢キャンパス 一号館一階)

電話 042-677-1354 メール tmv-volunteer@injimu.ac.jp

文章担当

地域ボランティアプログラム ① 松木日向緑地プログラム メンバー